

<学習到達目標>

【主体的に学習に取り組む態度】	様々な事柄を数量や図形などでとらえ、それらの性質や関係を見出し、数学的に考えることに関心を持ち、意欲的に問題の解決に活用しようとしている。
【思考・判断・表現】	数学的な活動を通して、数量、図形などについての基礎的な知識や技能を確実に修得するとともに、それらを活用しながら数学的な見方や考え方を身につけ、事柄を見通しを持って論理的に考察することができる。
【知識・技能】	文字式の計算や方程式を解くことが能率的にできる。また関数関係を見出したり、グラフを書いたりすることができる。また図形や数量関係を的確に表現したり、数理的に処理したりすることができる。 文字式の意味、方程式の意味や関数関係の意味が分かる。図形の基本的な性質や特徴がわかる。

月	学習のねらい・内容	月	学習のねらい・内容
4	【正の数・負の数】 時数 26 ◆負の数の意味を理解し、正の数・負の数の必要性和有用性を知り、具体的な場面で表現したり処理したりできるようにする。 ◆正の数・負の数の四則について理解し、それらの計算ができるようにする。 ◆四則計算の可能性について考察し、数の概念について理解を深める。 ◆素数の意味をとらえるととも素因数分解を利用し数の性質について理解を深める	12	◆比例、反比例を表、式、グラフなどで表し、それらの特徴を理解し、具体的な事象の考察に利用できるようにする。 【平面図形】 時間数 18 ◆直線、線分、角の意味や表し方を理解するとともに、垂直、平行などについて理解する。 ◆図形の移動の意味と、その性質について理解する。
5		1	◆基本的な作図の仕方について理解し、それを理解することができるようにする。 ◆円や扇形についての基本的な用語の意味を知り、その表し方を理解するとともに、扇形の中心角と弧の長さ、中心角と面積の関係について理解し、扇形の弧の長さや面積を求めることができるようにする。
6	【文字の式】 時数 17 ◆文字を使って、数量や数量の関係などを式に表し、文字の必要性和意味を理解する。 ◆文字を使った式の表し方を理解し、それに基づいて式に表したり、表された式の意味を読み取ったり、文字に値を代入して式の値を求めたりして、文字式の理解を深める。	2	【空間図形】 時間数 19 ◆立体を作ったり、観察したりすることなどを通して、空間における平面や直線の位置関係を理解する。 ◆観察、操作や実験などを通して、柱体の表面積、錐体や球の表面積や体積とその求め方について理解し、求めることができるようにする。 ◆立体を線分や平面図形の運動によって構成されるものと捉えたり、立体を平面上に表現して立体の性質を見いだすことができるようにする。
7	◆簡単な一次式の加法と減法の計算ができるようにする。また、式に数をかけることや式を数でわることができるようにする。 ◆数量の関係を等式や不等式に表すことができるようにする。 ◆具体的な場面と関連付けて、一次式の加法と減法の計算の方法を考察し表現できるようにする。	3	【データの活用】 時間数 12 ◆度数分布表やヒストグラム、代表値の必要性和意味を理解する。またそれらを用いて資料の傾向をとらえ、目的に応じた判断ができるようにする。 ◆多数の観察や多数回の試行によって得られる確率の必要性和意味を理解し、不確定な事象の起こりやすさの傾向を読み取り、表現できるようにする。 ◆目的に応じてデータを収集、分析し、分布の傾向を読み取り批判的に考察し、判断できるようにする。
9	【方程式】 時数 16 ◆方程式の必要性和意味、及びその解の意味について理解する。 ◆等式の性質を見出し、それを利用して式を変形することで、方程式が解けることを知る。 ◆方程式、比例式を解くことができるようにする。		
10	◆方程式や比例式を具体的な場面で利用することができるようにする。		
11	【変化と対応】 時間数 18 ◆関数や比例、反比例、座標の意味を理解する。 ◆比例、反比例として捉えられる2つの数値について、表、式、グラフを用いて調べ、その変化や対応の特徴を見いだせるようにする。		

評価資料	【主体的に学習に取り組む態度】	粘り強く学習に取り組む態度、ノートやレポート等における記述など
	【思考・判断・表現】	定期テスト・小テスト・課題への取り組み状況 など
	【知識・技能】	定期テスト・小テスト・課題への取り組み状況 など

